

あけまして おめでとうございます



あけましておめでとうございます。

平成23年の輝かしい新春を健やかに迎えられましたことを、心からお慶び申しあげます。

さて昨年を顧みますと、3月には新千歳空港の国際線旅客ターミナルビルが供用開始されるとともに、5月には日中韓三カ国環境大臣会合が支笏湖で開催されるなど、国際化の推進や本市の魅力在海外に発信することができた一年でありました。

また、本市が有する特性・優位性・可能性を踏まえた「重点施策」のうち「子育て・教育」では、市内8館目となる「ほくよう児童館」の開設や産婦人科医院開院支援による産科医療の充実を図り、「安全・防災」では、整備を進めております防災学習交流施設の中核となる「防災学習交流センター・そなえーる」を4月にオープンいたしました。本市の防災の拠点となります「そなえーる」は、国内で発生した大きな地震や火災による煙の疑似体験、さらには避難器具を使用した避難要領などを実際に体験し、災害に対する備えを学習する場として、既に今年度中の来館者数の目標を上回る多くの皆様に利用いただいております。本年7月には、整備中の防災の森（Cゾーン）がオープンし、全ての施設が整いますことから、防災に強いまちづくりのため、皆様に親しまれ利用される施設となりますよう運営してまいります。

一方において、我が国の経済は足踏み状態が続いており、加えて、失業率が若年層を中心に高水準で推移するとともに、今春卒業予定の高校生、大学生等の就職内定率が対前年同期よりも低下しているなど、依然として厳しい雇用情勢となっております。

今後、海外景気の下振れ懸念や為替レートの変動などにより、景気がさらに下押しされるリ

スクが存在していることから、政府は「円高・デフレ対応のための緊急総合経済対策」を進めており、本市といたしましたもこうした動向を踏まえながら、昨年末に公共工事の追加や前倒し発注、市職員の追加募集などの緊急経済対策を講ずることとしたところであります。今後、国等の関連情報の収集や把握に努めながら適切に対応してまいります所存です。

また、しょうひ焦眉の課題であります自衛隊の体制維持問題につきましては、昨年末に「平成23年度以降に係る防衛計画の大綱」と「中期防衛力整備計画」が閣議決定されたところです。陸上自衛隊の定員数が、前の大綱から1千人の減という最小限にとどめられましたことは、私たちがこれまでの活動の中で訴えてまいりました「我が国の防衛における地域の役割」が少なからず理解されたものと受け止めております。

一方で、戦車、火砲がそれぞれ前の大綱から更に削減されることとなりますことから、これに伴う人員の削減が懸念されるところであります。今後も道内自治体と連携して現体制の維持に向けて活動を継続してまいります。

本年は、平成23年度以降10年間のまちづくりの基本方針となります、第6期総合計画のスタートの年となります。将来都市像「みんなで生き生き 活力創造都市 ちとせ」を実現するため、市民の皆様が住み良さを実感し、誇りを持つるまちの実現に向けて邁進し、市民のだれもが生き生きとした生活を送り、まちの元氣と勢いが持続していく千歳を築きあげてまいります所存であります。

新しい年が、活力にあふれ、市民の皆様笑顔が輝く、希望に満ちた一年になりますよう心からお祈り申しあげ、新年のごあいさつとさせていただきます。



千歳市長
山口 幸太郎